

『大いなる諏訪まつり 御柱』

7年に1度の熱狂と勇壮の御柱祭がやってくる。諏訪信仰・巨木信仰と深く結びついた御柱祭りの意味をさまざまな角度から追います。多数のご参加をお待ちしております。

日時	内容	講師
9月19日(金) 午後7時～9時	すわ御柱・共生と復活の祭り ～見える力・見えない力～	 作家 はやし いく 郁先生 (岡谷市出身)
9月26日(金) 午後7時～9時	御柱・祭りとかたち ～山作衆と八龍社氏子衆～	 歴史民俗研究家 はら なおまさ 直正先生 (諏訪市)
10月7日(火) 午後7時～9時	御柱と龍蛇信仰と他界観念	 どもめん元編集長 たなか もとゐ 基先生 (茅野市)
10月20日(月) 午後7時～9時	ネパールの柱祭り ～日本の御柱祭との 類似と相違～	 ネパール文化研究家 てらだ しずこ 鎮子先生 (東京都)
10月28日(火) 午後7時～9時	アジアの柱建祭り ～映像でみる各地域の柱祭り～	 民俗研究家 はぎわらひでよ 三郎先生 (東京都)

会場 イルプラザ・カルチャーセンター(多目的ホール)

定員 50人

受講料 500円

(5日分全講座通じて)

申込み 9月8日(月)午前9時から受付開始
(窓口または電話)

託児 申込みの際お申し出ください

申込み・問合せ

イルプラザ
カルチャーセンター

☎24-8401

FAX 24-8442

イルプラザ・カルチャーセンター開館記念講演会

岡谷市生涯学習大学

講師の紹介

1947(昭和22)年山梨県北巨摩郡高根町に生まれる。

1971年早稲田大学第一文学部卒業。東京教育大学大学院博士課程中退。和歌山大学助教授を経て90年より早稲田大学に勤務、現在、早稲田大学教授。文学博士(京都大学)。専門は西洋哲学。

1986年～88年ドイツ・トリア大学クザヌス研究所客員研究員、1998年～2000年ドイツ・ボン大学哲学科客員研究員。国際クザヌス学会学術顧問。アメリカ・クザヌス学会名誉顧問。

主な研究対象は西洋15世紀の思想家ニコラス・クザヌス。

著書に『クザヌスの世界像』、訳書に『クザヌス 神を観ることについて』など



講師 八巻 和彦 先生
早稲田大学商学部教授(哲学)

第3回

八巻 和彦 先生講演会

「グローバル化とアイデンティティの危機」

アイデンティティの危機

日時 9月20日(土)

午後1時30分～3時30分

会場 イルプラザ・カルチャーセンター

入場無料

申込み 電話、FAX、窓口等でお申し込みください

成人学校

受講資格…市内に在住または勤務している
16歳以上の方（学生は除く）
受講料…1科目 1,000円

川岸公民館 ☎23-2200 FAX 23-1681

ジャーナリスト生活 50年を振り返って

〜今、身近で何が起きているか〜

日時 10月14日〜28日
毎週火曜日（全3回）
午後2時〜3時30分

定員 30人

講師 元9チャンネルキャスター
広瀬 博人 先生

持ち物 筆記用具

申込み 9月16日（火）午後2時から
直接窓口にて受付
※翌日から電話受付も可

リフレクソロジー （足反射療法）

〜家庭でできる自然療法〜

日時 10月2日〜11月6日（10/23
除く）毎週木曜日（全5回）
午後7時〜8時30分

定員 20人

講師 日本リフレクソロジスト認
定機構認定校講師
小坂 恭代 先生

持ち物 バスタオル、筆記用具、ひ
ざ下が素足になれる支度

材料費 実費500円

申込み 9月11日（木）午後6時30
分から直接窓口にて受付
※翌日から電話受付も可

文化講演会

木村正彦 日本の伝統盆栽の 魅力を語る

〜盆栽…これが日本の心〜



世界の盆栽作家木村正彦先生をお招きして、先生が海外講演なさっている日本の盆栽の楽しみ方についてお話いただきます。

主催 日本盆栽を愛する会
岡谷市教育委員会

- 日時** 9月15日（月）午後1時30分から
- 場所** カノラホール 大ホール
- 講師** 盆栽作家 木村正彦先生
- 入場料** 入場は無料ですが、資料代として大人の方（18歳以上）から1,000円いただきます。
- 問合せ** イルプラザ・カルチャーセンター
☎24-8401 FAX 24-8442

図書館から ☎FAX 22-2031

☆『秋の映画上映会』☆

9月15日（月）2階会議室にて

- ◆午前11時〜〈児童向け〉
「トムとジェリー魔法の指輪」
- ◆午後1時30分〜〈一般向け〉
「オーシャンズ11」

ちいさなおはなしの森

乳幼児向けの絵本の読み聞かせ・パネルシアター・紙芝居など…

日時… 9月17日（水） 午前10時30分〜
会場…図書館2階会議室

おはなしの森（通常通り）

毎週土曜日 午後3時〜と午後3時30分〜《2回》

9月の児童書
テーマブックス
大好き! おじいちゃん おばあちゃん

生涯学習おかげ

ページ

だけの方、お子さんのス
話を募集しています！
課まで。

今年は冷夏でしたね。夏は？と思
っているうちに、もう秋の気配がし
ます。秋を探しに散歩にでかけてみ
ましょう。疲れたら一休みして、広
報を読んでクイズもしてみませんか。

◎前回の答え（8/1）と当選者

問1-①日本の都市

問2-②イルプラザ北側広場

問3-③58年

正解総数21通（応募総数21通）の中から抽選で、今井
睦子さん（神明町3）、永原悦子さん（長地柴宮2）、
飯塚志恵子さん（神明町1）、竹島満恵さん（神明町3）、
赤羽里美さん（本町4）に記念品をお送ります。



問1 おかや総合福祉センターは9月
何日にオープン？

答え ①10日 ②11日 ③12日

問2 第3次岡谷市総合計画の何を改
訂？

答え ①基本理念 ②基本構想
③基本事業

問3 岡谷市長選の投票日は9月何日？

答え ①21日 ②22日 ③23日

ヒント…特集を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号をお書
きになり、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所（住所
不要）》まで。9月20日の消印まで有効。ひと言書きそえて
くださるとうれしいです。（ひと言は15日号の「みんなの声」
のコーナーへ掲載させていただく場合があります）

市民レポーター だより

古田 幸子さんの
啓蒙レポート **最終回**

「自閉症」って ご存知ですか？

みなさん、お世話になりました。今回
のレポートが最終回になります。
最終回は、親友の息子さんのお話です。
彼は自閉症で、今年5歳になります。
自閉症とは、とじこもる子ではなく、
『生まれつきの脳の機能障害』です。み
なさんはダスティン・ホフマンの演じる
映画「レインマン」をご存知でしょうか。
彼が自閉症です。人と視線を合わせず、
通常のコミュニケーションは通じず、自
分の周囲の環境や状況の意味も理解でき
ないという特質があります。また、すご
く暗記力が良かったり、計算が速かった
りと、特異な才能を持ち合わせているこ
とも多く、芸術の才能がある方もいます。
普通の生活はできるけれど、「レイン
マン」のように、ようじでホットケーキを
食べるきまりを自分の中で確立してしま
うと、それをやめさせようとすればパニ
ックを起こします。そのパニックを起こ

しているとき、ワッペンが付いている子
でしたら少し大目に見てあげてください。
程度の差こそあれ、自閉症と診断され
る方は、50人に1人いるそうです。私が
啓蒙したいのは、比較的自閉症の方が多
い世間で、自閉症のことが知られていな
い現実です。私たち一般の人がそのため
の受け皿を作るべきではないでしょうか。
例えば、彼らが保育園や小学校へ通うた
めに、慣れるまでに何か月も何年もかか
ります。そういうサポートを長期にわた
ってお手伝いできる方、また重度の方の
お宅へ赴いて、彼らに理解できやすい写
真入りカードなどを一緒に作ってくださ
るような、そんなボランティア団体がで
きるとうれしいなと思います。
どんなハンディを抱えている方でも、
「相手の立場にたって考えられる社会」
に支えられるはずだと信じています。
長い間ありがとうございます。



市民レポーター
古田 幸子さん
ふるたさらこ



みんなの

一品料理を紹介していた
ナップ写真、また身近な
地域振興

国際交流員のモリハラ・ダイスケです

オラ ア トドス
Olá a todos!

(ポルトガル語で「みなさん こんにちは!」)

No.1



みなさん、こんにちは! 私は岡谷に来て、みなさんに温かく迎えられ、岡谷市に好印象を抱きながら、2週間がたちました。私はダイスケです。新たに岡谷市の国際交流員として着任しました。ご存知のとおり、7月にニュージーランドへ移住されたエリック・リンドブロンさんの後任としてやってきました。

みなさんの中には、びっくりされている方もいらっしゃると思います。私は日本人のような外見で、日本人の名前です。なぜなら、父が日本人で、母がブラジル人だからです。私は世界で4番目に大きな都市、ブラジルのサン・パウロに生まれて育ちました。サン・パウロは人口が約460万人の巨大都市です。

私は、ブラジルでインターナショナルハイスクールを卒業したあと来日し、東京の上智大学で学びました。その時点では、日本語がほとんど分からず、ポルトガル語と英語を話すことはできましたが、あまり役に立ちませんでした。何度も駅で迷ったものです。私は4年間、英語だけで授業をしてくれる学部で政治学を学びました。日本について多くを学ぶことができ、人生において最良の時を過ごすことができました。

卒業後もまだ学びたいと思い、岡山県の新見市へ行きました。そこで私は英語指導助手として1年半勤め、小



岡山県新見市の小学校にて

学校での新たな英語教育を行いました。児童が楽しみながら自然に英語を学べるよう、ゲームや音楽、遊びやビデオなどを通じた1年間のカリキュラムを作成しました。**私**は今岡谷で、ここを取り巻く自然環境を楽しんでいます。また、諏訪湖の周りをジョギングすることや、やまびこ公園からの眺めが好きです。太鼓祭りには感動しましたし、これから行われるさまざまなお祭りも楽しみです。岡谷でこれから得ることになるすばらしい経験のことを思うとわくわくします。でも、冬がちょっとだけ心配です。ご存知のとおり、ブラジルは熱帯の国ですが、岡谷は零下10℃にもなるそうですね。

国際交流員として岡谷市のみなさんと、また、特に市内に住む外国人のみなさんと、ぜひ共に活動していきたいと思っています。国際理解は文化や言葉の違いなどがあって難しいものです。しかし、日本に住んでみた私の経験から、それぞれの社会によって違いがあっても、同じこともまたたくさんあるということです。世界のどこにいても、大切にしていることは基本的には同じです。家族、教育、健康、友達、環境、などなど。国際理解は、私たちの共通することを学ぶことが、文化の違いを学ぶことと同じくらい大切なのだと思います。

新見市では、私の趣味は裏千家の茶道でした。美しい芸術なので岡谷でも続けていきたいと思っています。また、新見では温泉も楽しみました。温泉が大好きです。岡山県内だけでなく、鳥取県の三朝温泉や、四国の道後温泉まで車で出かけて行ったものです。長野県でも、できるだけたくさん温泉に行きたいと思っています。また、映画やテニス、読書も好きです。最近私が読んだ小説は、石田衣良の「フォーティーン」です。

岡谷市での新たな生活を楽しみにしています。今は、例えば9月にやってくるオーストラリアの生徒たちの受け入れや、日本語ディベート大会など、これから行われるさまざまなイベントに向けて、市のことを勉強しているところです。このようなイベントや活動に協力できることが今から楽しみです。精一杯がんばりますので、よろしくお願いします。